

大腸内視鏡スクリーニングによる大腸癌死亡率の低下について

大腸内視鏡によるスクリーニングを行い、3年または5年後に再度大腸内視鏡によるスクリーニングを行うことにより、11.9年後の大腸癌の発生率は21%低下し、大腸癌による死亡率は26%低下するという研究結果が New England Journal of Medicine 誌に掲載されました。

